

HACHIMAN  
Kawara-ban  
HONOBONO-Tsushin

# 八幡堀と町衆の430年の道のり

## 通信 八幡堀界隈 版

2016 Vol.18



【松前屋 岡田彌三右衛門】(為心町)  
近江では六角氏衰退・浅井氏滅亡の後、多くの両氏一族・遺臣が帰農、又は商人へと転じていきましたが、岡田家も元武士の家柄とされています。  
岡田彌三右衛門は永禄11年(1568)の頃、蒲生郡加茂村(現在の近江八幡市)に生まれ、若い頃、安土城下で商売を営んでいましたが、本能寺の変後安土城も落城したことから天正14年(1586)豊臣秀次の八幡城築城を契機に八幡城下の為心町に新たに店を設けました。秀次の自害によって、八幡山城の廃城後に町が衰退すると、慶長年間(1596~1615)に呉服太物を抱えて奥州に行商を始め、開拓の精神で不毛の地に遠征し、行商しつつ陸の果て東北を指して八戸を拠点とし、大いに蓄財をなしました。八戸港は当時松前交通の要であり津軽海峡を渡り蝦夷地の松前城下にも拠点を進めていきました。  
更に松前藩家臣工藤平右衛門の助力を受けて松前(現北海道松前町)に進出し、近江八幡では屋号を「松前屋」とし、蝦夷地に呉服・太物・荒物を販売する支店を大松前に開き、屋号を「恵比須屋」としました。後に松前藩の信任を受けて、蝦夷地の千石船を用い海産物を日本海を経由(北前船)して出羽から北陸・上方へと運んだり、蝦夷地における漁場経営や物資の調達を請け負ったりして御用商人として活躍しました。彌三右衛門は岡田家の蝦夷地での基盤を作り上げ、慶安3年(1651)に郷里近江八幡で死去しました。

江戸時代初期の商人で、蝦夷地に進出した近江商人・岡田八十次が初代とされますが初代は彌三右衛門で、一般に呼びならわされている八十次を称したのは7代目以後とされています。  
子孫も引き続き、松前の支店を拠点として蝦夷地における近江商人の中心的存在として活動、両浜町人の代表的商家の一つとして、岡田家第10代の時には小樽内・古平・礼文・利尻など23ヶ所所場所請負を行っていました。  
11代目が壮年の頃、函館より室蘭に向う途中で登別の山中で休憩した際に、川筋に湯煙が立っているのを発見し、これが後の登別温泉につながったと伝えられています。  
明治4年(1871)に小樽(旧・小樽内)に支店を移して、12代目・13代目が北海道の開発事業に参加して小樽の町の基盤整備を行ったり、北海道で炭礦や農場を経営したり、更には九州地方でも事業展開を見せたが、当時としては時代よりも進み過ぎた事業も多く経営が苦しくなり、場所請負制度の廃止等が影響し、明治34年(1901)に13代で破産を余儀なくされました。



※参考文献 近江八幡人物伝 近江八幡郷土史会刊

# 松明スタンプラリー開催

TAIMATSU STAMP RALLY

松明のまち 近江八幡 プロジェクト

開催期間/平成28年12月上旬~平成29年2月28日

スタンプを集めて近江八幡の銘品や松明グッズをGETしよう!  
歴史と文化が受け継がれるまち近江八幡。そのなかでも松明は千年の歴史をもつ近江八幡を代表する伝統文化です。そんな近江八幡市内の施設やお店全30箇所を巡る、スタンプラリーを開催します。スタンプ設置施設には小さな松明「子ども松明」を展示しています。松明を身近に感じながらスタンプ集めを楽しんでいただきたいと思います。スタンプは全30種類をご用意しております。松明が作られていく過程や様々な松明の姿を描いた特別なスタンプです。また、集めたスタンプの数に応じた賞品も用意しております。ぜひ、コンプリートを目指してチャレンジしてください。

## 松明スタンプラリー

スタンプ台紙には、参加施設で使える「クーポン」もついています。このクーポンで、“お得”に参加施設を巡ってスタンプを集めてください。賞品には、近江八幡の銘品や松明オリジナルグッズをご用意しました。(※応募方法はスタンプ台紙をご覧ください)

<p>スタンプ30コで</p> <p>子ども松明 &amp; 近江牛(300g)</p> <p>【抽選で3名様】</p>	<p>スタンプ20コで</p> <p>純米吟醸酒 権座(1升瓶)</p> <p>近江牛カレー(5個)</p> <p>【抽選で5名様】</p>	<p>スタンプ15コで</p> <p>オリジナル 松明扇子</p> <p>【抽選で50名様】</p>
<p>スタンプ10コで</p> <p>オリジナル 松明てぬぐい</p> <p>【抽選で100名様】</p>	<p>スタンプ3コで</p> <p>オリジナル 松明ステッカー</p> <p>【抽選で500名様】</p>	<p>▲スタンプ見本/スタンプは全部で30種類あります。</p>

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。※都合により賞品が変更になる場合がございます。※写真はイメージです。※松明オリジナルグッズのデザインは変更になる場合がございます。

## 近江八幡の松明

近江八幡市内各地では、毎年大小200基を超える松明を結び、奉火されてきました。この千年の歴史をもつ伝統的な火祭り「近江八幡の火祭り」は、国選択の無形民俗文化財になっています。近江八幡に伝わる伝統文化「松明」を知っていただく機会として、子ども松明を展示いたします。

10月に開催された子ども松明づくり教室の様子

子ども松明とは  
子ども用の松明で、子どもが成長するにあたり、大きさも変わっていきます。今回展示する子ども松明は、子どもたちが実際につくったものもあります。

## クイズ

八幡商人の先駆けである【松前屋 岡田彌三右衛門】は蝦夷の地北海道では屋号を何と名乗っていたのでしょうか?

抽選で5名様  
葺うどんお食事券ペアを差し上げます

ご希望の方は答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、官製はがき又はFAXでご応募下さい。  
抽選でお送りします。(応募締切は11月5日必着)  
当選者の発表は発送をもってご了承下さい。  
当選の方は是非、ゆっくり八幡堀界隈を散策してください!

〒523-0837  
近江八幡市大杉町30の1(有ほのぼの館) クイズ係  
FAX 0748-32-3514

前回の当選者発表  
おめでとうございます  
山形屋  
永原町 T.Mさん  
船木町 S.Yさん  
南津田町 F.Yさん  
大房町 O.Sさん  
京都市 K.Yさん

## 近江つゆの 山王

■日年禮店

「贈答のごあんない」  
本物の美味しさを贈る

<p>一段三品</p> <p>一箱 3,520円(税込)</p>	<p>一箱 3,240円(税込)</p>
<p>一箱 2,780円(税込)</p>	<p>一箱 5,000円(税込)</p>

クーポン特典  
二、〇〇〇円以上お買い上げの方に粗品プレゼント!  
H28年 12月末迄

近江味噌漬  
武宗

8,680円(税込)





お誕生日・記念日 花束プレゼント (12月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 10名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

- \* 特別展 珠玉の湖東焼 滋賀県立陶芸の森陶芸館 12月11日迄 20名様
- \* JEWELS ムガール帝国とマハラジャの宝石  
カタール・アルサーニ・コレクション MIHO MUSEUM 12月11日迄 10名様
- \* 改組 新 第3回 日展 京都市美術館 1月15日迄 50名様
- \* 利休の愛した美 茶碗の中の宇宙 京都国立近代美術館 2月20日迄 20名様
- \* 京都芸大 美を語る スクラップブック 20名様
- \* なんでもスクラップ帳 10名様
- \* 京都新聞オリジナル トートバック白 20名様
- \* 京都新聞2017年度オリジナル手帳 30名様

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品一品を上記の上、官製はがき又はFAXで下記販売所まで、ご応募下さい。抽選でお送りします。  
締切は花束、11月30日迄 発送をもって終了承ください。  
洗剤、チケット等は12月5日迄 発送をもって終了承ください。

近江八幡の観光スポットを訪ねてみませんか!

旧伴家住宅

きゅう ばんけいじゅうたく

旧伴庄右衛門家住宅は嘗ての八幡町の中でも一等地であった京街道と新町通の角地に建っています。江戸時代初期の豪商『伴庄右衛門』が本家として建てた商家で、八幡商人の隆盛を物語る代表的な建物と言われ、文政10年(1827)から天保11年(1840)にかけて建てられたと考えられています。

伴庄右衛門家の屋号は扇屋といひ、商号として「地紙一(じがみいち)」を使用していました。畳表、蚊帳、扇子、麻織物を主力に商売に励み、大阪・京都に出店を持ち、やがて江戸日本橋にも大店を構えるようになり、為替業務や大名貸しもしていました。

質素儉約勤勉を旨として商売をする一方で、文化芸術にも深い造詣を持ち、五代目資芳(すけよし)は、伴蒿蹊と称し若くして隠居し、江戸中期を代表する歌人・国学者として道を究め、当時のベストセラーとなった「近世騎人伝(きんせいきじんてん)」の編集で名を馳せました。

隆盛を誇った伴家でしたが、江戸時代の末期から急速に家運が衰え、明治期には商家をたたみ、現在は子孫も途絶えています。

明治以降は八幡役場や学校、図書館として地域の人々に親しまれ、平成16年4月からは明治期に学校として利用されていた状況に復元・整備され公開されています。今に残る旧伴家住宅は七代目能尹(よしただ)が、江戸時代後期に建築したと言われ、当時としては珍しい三階建ての極めて規模の大きい建物で、地震に堪えうる堅固な建物を目指して建てたとの記録が残っています。旧伴家住宅の魅力はその豪快な造りにあります。入り口を入ると広大な土間が広がり、土間の奥には3階の屋根裏に達する吹き抜けがあります。約40cm角の大黒柱は3階の屋根裏まで伸び、高さ約70cmの胴差しや、緩やかな曲線を描く丸太梁と直線な束と貫で構成された大空間は実に見事です。2階には45畳の大広間があります。2階の梁も太く、この部屋の西側一面には窓がつけられ、明るい広々とした空間となっていますが、この窓の上部を支える梁などは7間半の長大なものです。3階は2つの部屋と幅1間の廊下で構成され、東側と西側の部屋は全く構造が違っているのが特徴的です。東側の「地震の間」と呼ばれる部屋は、その名称や構造から一見すると地震の際の避難場所のようですが、よく見ると耐震構造とは言い難く、その由来は不明です。家作制限が厳しく二階建ては基本的に禁止されていた当時、堂々とした三階建ての建物を造ることができた旧伴家住宅は、八幡商人の力を示していると考えられます。

地震の間

公益財団法人 八幡教育会館  
(近江八幡市指定文化財 旧伴家住宅)  
〒523-0808  
滋賀県近江八幡市新町3丁目15番地  
【開館時間】 9:00~17:00(入館は16:45まで)  
【入館料】 一般 ¥400 小・中学生 ¥250  
団体(10人以上)…一般 ¥350  
小・中学生 ¥200  
【休館日】 月曜日・祝祭日の翌日・年末年始  
(なお、5、6月と10、11月は無休)  
TEL・FAX(0748)32-1877  
◇交通 JR東海道線近江八幡駅下車、  
近江バス10分、市立資料館前下車  
◇駐車場 市営駐車場 500円



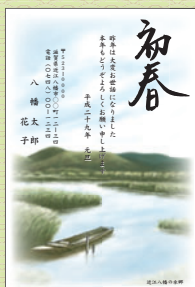
〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

オリジナル年賀状 2017年(平成29年)版  
◆年賀状のご用意不要!

HAPPY New Year 2017

オリジナル年賀状印刷

「酉」の文字やイラストをフアンポイントに水曜や八幡場等にのめられます。デザインやアレンジ料金は発生しません。



「近江八幡の水郷」



「千支 酉」



「春の八幡堀」



八幡花子



八幡太郎・花子

◆自由にアレンジやオリジナルを入れられます!

年賀はがきのお持ち込みについて

- ・お年賀ハガキは弊社でご用意致します。
- ・はがきをお持ち込みされる場合、当社では印刷用はがきに交換するため、はがき一枚につき5円の手数料を頂きます。

※インクジェット紙のお持ち込みは受け付けておりません。

有限会社 ラビットハウス

〒523-0837 滋賀県近江八幡市大杉町30-1  
ギャラリースペース新町浜2F

見本集ご利用の方はお申し付け下さい

TEL 0748-33-2914 FAX 0748-32-3514

E-mail rabbit@silver.ocn.ne.jp